

第13回

くらしのサイエンス講演会

大阪市立環境科学研究所・大阪府立公衆衛生研究所 共催

1. 大阪府における環境放射能測定

大阪府立公衆衛生研究所 肥塚利江

東北地方太平洋沖地震により発生した福島第一原子力発電所の事故に伴い、放射性物質が環境中に放出されました。大阪府には、影響があったのでしょうか？

当所では約 50 年間にわたり大阪府の環境中の放射能の調査を行ってきました。今回は、これまで行ってきた調査での放射能レベルの推移と、原発事故に伴って行われたモニタリング強化の内容とその結果についてご紹介します。

2. 今日の私たちの暮らしとカビ

大阪市立環境科学研究所 濱田信夫

私たちは健康な毎日を送るため、日頃から清潔に心がけ、生活の向上に努めてきました。しかし、食品や住まいに関するカビの苦情は以前より減少したとは言いがたいようです。その一因として、カビに関して普及している知識に多くの誤りが含まれている点が挙げられます。実際の被害例を検証しながら、カビに対する正しい対処法を紹介します。

日時:平成24年1月18日(水)14時～16時

会場:大阪府病院年金会館
コンベンションルーム
(大阪市天王寺区六万体的町4-11)
(交通)地下鉄谷町線・四天王寺前夕陽ヶ丘駅
3番出口から徒歩1分

定員:150名(先着順)

参加費:無料



申込方法

お申し込みは、はがき、FAX、e-mailまたは電話で受け付けています。

○はがき、FAX、e-mailでのお申し込みは、「住所・氏名・連絡先電話番号 (FAXの場合はFAX番号も)」をご記入のうえ、下記にお申し込みください。

〒537-0025 大阪市東成区中道1丁目3番69号
大阪府立公衆衛生研究所「企画調整課」まで
FAX 06-6972-7625
e-mail : seminar11@iph.pref.osaka.jp

○電話でのお申し込みは、TEL 06-6972-1321(内297)

申込期限:平成24年1月13日(金曜日)必着

◎希望者が多数の場合は先着順(150名)とさせていただきます